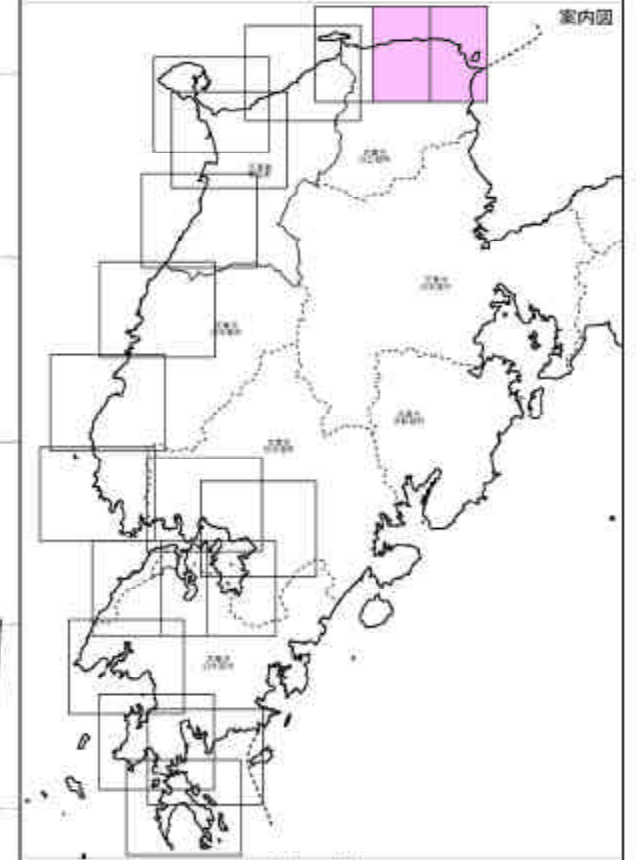


# 高潮浸水想定区域図(旧五和町) 1/2

1. 説明文
  - (1) この図は、大津波沿岸(南北町・大津町)について、大津波下沿岸域を中心とした過去の地震観測資料に基づいた数値シミュレーションによる想定される最大規模の台風により起こされる高潮、高潮により想定される浸水想定区域と、当該区域が浸した際に想定される水深その他のことを示したものです。
  - (2) この浸水想定区域は、大津波沿岸(南北町・大津町)における津波到達までの暴風雨時及び津波到達の暴風雨時等を勘案して、想定最大の高潮、高潮により浸した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。
  - (3) なお、この浸水想定区域の算出にあたっては、河川からの洪水の影響、想定される高潮、高潮による土砂崩れを考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2. 基本事項
  - (1) 作成主体 大津波沿岸川連
  - (2) 作成年月日 平成20年1月
  - (3) 対象となる地域 大津町、南北町
  - (4) 作図の前提となる条件、前提事項
    - ① 高潮到達は、その地域の海岸に想定される最大規模の高潮を仮定したものと、最大高潮は、最大規模の津波と同時に発生するとしています。
  - (5) 関係市町村 大津町、南北町
  - (6) その他担当部署 大津波沿岸川連事務局



凡 例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)及び浸水の目安

0.5m未満の区域	0.5mは大人の膝まで浸水する高さ。水深10cmは大人が踏み入れられ、浸水したままでは歩行困難。普通自動車は、エンジンルームへの浸水が想定される。
0.5m～1.0m未満の区域	1.0mは大人の膝まで浸水する高さ。浸水や高潮による、壁や物や運搬に注意されるなど、歩行には注意が必要。大人でも浸水の危険がある。平地によっては泳ぐような状況であり、一般に、子供やお年寄りなど、災害弱者の歩行困難は想定される。
1.0m～2.0m未満の区域	2.0mは1階軒下まで浸水する高さ。様々な障害物も浸水することもあり、避難の危険が高くなる。水圧が各層に上昇する場合は、自動車は浮力により浸水する危険性がある。自動車は浸水しないように、カーポートを利用し、避難し、避難物や沈没、浸水によっては危険。
2.0m～5.0m未満の区域	2階の軒下まで浸水する高さ。水深2mは、一般に大人でも歩行困難。浸水や高潮による、歩行には注意が必要。浸水したままでは歩行困難。浸水したままでは歩行困難。浸水したままでは歩行困難。浸水したままでは歩行困難。
5.0m以上の区域	2階の軒下まで浸水する高さ。水深5mは、一般に大人でも歩行困難。浸水や高潮による、歩行には注意が必要。浸水したままでは歩行困難。浸水したままでは歩行困難。浸水したままでは歩行困難。



この地図は、国土地理院の地図を用いて5,000分の1の地形基本図データを複製したものである。(承認番号 霞第102号・平成19年7月17日)